



ひまわりノ畠

教育目標 思索・和敬・剛健
R7学校スローガン 笑顔とあいさつそしてありがとう



<http://www.kiyose.ed.jp/kiyosedaisyokyuu/gakkou/index.htm>

雑木林を伐採！ 30年後に再生？

先日、生徒と地域の皆さんで、花壇の手入れをして頂き、また先週は、学校支援本部の方々が、東京都都市緑化基金で頂いた草花や球根を植えてください、また一歩、五中の花壇は春に向けての準備が進みました。そんな学校の様子を見て、自宅の庭の手入れもしなければと思い立ち、伸び放題になっていた自宅の植木を剪定しました。2年間そのままだった木は、屋根の高さを超えてしまい、木に登って背丈を詰める作業は一苦労、ほったらかしだった花壇も、草が好き放題に生えていて、木製の囲いなども随分と朽ちはてていました。自然と違いますので、收拾がつかなくなる前にやはり手入れをしないといけませんので、年末にはさらに作業をしようと思っています。



学校の雑木林 これは植えたものか？ それとも実生の林？

学校の創立当時に敷地内に植えられた苗木たちは45年の歳月で育ち、中庭のイチョウは校舎の高さを超えて、東の道路側の桜は、両手を広げても届かないほどの幹となっています。



テニスコート横にある南西の一角は、他の場所とは少し異なり、落ち葉でフカフカになった地面に笹などの下草が生えており、隣接する雑木林が続くような感じです。学校建設時に撮られた写真を見ると、この隅の一角を柵で囲って整地をしており、敷地内に雑木林をそのまま残したようです。まだ細い実生の木々が茂っており、楓はその後に植林したようです。理科の授業で使えそうな教育林があるのは素敵だなと思っています。

9月の台風15号で倒木…、やはり手入れは大切です。

しかし9月に台風15号が日本列島を通過した際、驚いたことに、林の中にあった大きなナラの木が倒れてしまいました。撤去をしてもらった剪定業者さんに点検してもらうと、芯の部分が朽ちて、枯れかけていたことがわかり、さらにこの時に一緒に傾いてしまった木や、枝が大きく斜めに育ち過ぎている木々があることもわかりました。そして12月の先々週、倒木や落木の可能性がある木々を伐採してもらいました。全国的に放置林が問題となっていますが、雑木林は、下草を刈り、枝は薪に使い、落ち葉は田畠の堆肥に利用するなど、人が管理をする林です。定期的な剪定や下草の手入れなどをしなかったので、林全体が弱っていたかもしれません。

30年後に、株立ちの立派な木になっているでしょうか？

雑木林は昔、枝を薪にする以外にも、10～20年ごとに伐採して、炭を作るのに利用しました。そして切り株からは新しい芽（萌芽といいます）が出て再び成長をはじめます。このような木を株立ちと呼ぶそうです。さらに地面に日が差すようになり、新たにドングリから発芽した若木も成長し、雑木林自体が再生をしていきます。

今回の伐採した切り株からも、春に新しい芽が出て、30年後に、再び大きな木に育っているかもしれません。この話は本当なのかと、何年かおきに観察をしてみるのも、気の長い実験のようで面白いかもしれません。ところで30年後、生徒の皆さんは、どんな大人に成長しているのでしょうか？



10種の花苗：学校支援本部

12/10(水)

学校支援本部さんが、学校緑化活動のために東京都都市緑化基金に応募して下さり、花壇整備の一役となっています。五中の花壇は、本当に色々な方が様々な形で協力して下さっているのだと感じ入ります。期間が3年のこの基金は今年が最終年で、今回は10種類の宿根草（冬に枯れても、根は生き続けて、何年も花を咲かせる多年草）の株と球根を頂き、スクール・サポート・スタッフと学校支援本部、そして地域ボランティアの方々で、正門横の道路花壇と五中花壇に植えて下さりました。植物公園にあるミニ花壇のようになりました。ありがとうございました。春が楽しみです。



セーフティ教室 ~薬物乱用防止教育~ 12/12(金)

～ もも太郎のヤクヅツ鬼退治 ～ 後期保健委員会

12/12(金)の6時間目に、セーフティ教室を行いました。テーマは薬物乱用防止教育です。恒例となっていますが、本校の後期保健委員会の生徒の皆さん、学校薬剤師さんにご協力を頂き、劇仕立てにして、薬物の乱用についての警鐘を鳴らしてくれました。

劇のストーリーは、桃太郎が、猿・雉・犬をお伴に、ヤクヅク鬼を退治にいくという内容で、薬物の怖さを知らない鬼たちに、説明をする際に、薬剤師さんに協力をしてもらいました。学んだ内容を復習するためのクイズを織り込んだり、鬼たちに薬物を勧められた時の断り方なども、劇調で紹介してくれました。

薬物利用というと、覚せい剤や大麻、危険ドラッグ（少し前までは、合法ドラッグや脱法ハーブなど呼ばれていました）を思い浮かべますが、中毒性という点からは、薬の過剰摂取（オーバードーズ）も危険なことであること、また最近は、エナジードリンクと呼ばれる炭酸飲料などに多く含まれるカフェインについても注意が必要なことも学びました。心身の成長途中である現在の生徒の皆さんには、将来の自分のために、責任をもった行動をしてください。生徒たちが生徒に呼びかけて自分たちで学び合う、そのようなセーフティ教室を五中は試みています。保健委員会の皆さん、ありがとうございました。



※ セーフティ教室の様子は、右上の URL 又は QR コードよりご覧ください。期間は 12/31 まで、限定公開中です。



Last Run 3年保健体育 長距離走 12/10(水)

体育の授業では、10月下旬から、長距離走の課題に取組んでいました。1,000m走、1,500m走、2,000m走、12分間走など、走る距離を変えたり、時間走をしたりと、色々な距離と方法で、走力を高めました。

最初は1,000m走から始めて、距離を伸ばし、次に12分でどのくらいの距離が走れるのかに挑戦、そして、12/10(水)の最後の長距離走は、1,000m走に戻り、小春日和の下で自己記録更新に挑戦でした。

3年生の皆さんの中の本日の走りを見て、すごいと思ったのは、記録を取るサポート役の時は、全力で友達に声をかけて応援し、自分がランナーの時は、自己記録更新を目指して、誰一人、途中で止まったり、歩いたりはせず、走り切っていました。見学生徒もしっかりと応援をして、疲れがかったり、体調がいまいちの人もいたと思いますが、誰一人、手を抜くことなく、3年間の長距離走ラスト・ランを走り切りました。そして教科担任も、ラストランナーと一緒に走っておりました。生徒も教員も、全員で一丸となって取り組んでいる姿は、本日の小春日和のようでした。



3C <https://youtu.be/a23ao-s8FNs>
3AB <https://youtu.be/98Zs8BnCqPE>

しっかりと走り切ってくれると、

